

沖ト協発第21号
令和2年4月27日

貨物運送事業者 各位

(公社) 沖縄県トラック協会会長
(公 印 省 略)

点呼の際の留意事項について

謹啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の事業運営に格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染拡大により、事業者の皆様におかれましては感染拡大防止のため様々な対策をとられていることかと思えます。このような状況下で行う対面点呼について、多くのご質問が当協会に寄せられています。安全確保のため対面点呼は重要であることから、これまで通り適正に実施する必要がある、感染防止対策を含め次頁に留意事項をまとめましたのでご参照ください。

謹白

問い合わせ先：

(公社) 沖縄県トラック協会
適正化事業課

TEL 098-863-0280

FAX 098-863-3591

点呼等について新型コロナウイルス感染防止のための留意事項

1. ドライバーが出勤前に行うこと

①検温し、発熱や風邪症状、いつもとは異なる体調の変化（だるさなど）、家族に体調不良の方がいる等、がある場合は出勤前に運行管理者へ連絡し出勤可能かどうか指示を仰ぐ

→ 体調の変化を訴えやすい社内の連絡体制づくりを行い、軽症でも自宅待機等徹底した判断を行う

2. 出勤し点呼する前までに

①点呼前にドライバーは手指のアルコール消毒をし、その後石鹸で手を洗う

→ アルコール消毒後すぐにアルコール検知器を使用すると誤検知・誤作動や故障の原因になるため

3. 点呼時

①点呼執行者とドライバーは2メートル間隔をあげ、真正面に向き合わず斜めを向く等、向きを工夫する

可能であれば、点呼執行者とドライバーの間にビニール・プラスチックのついた等を置く、必ずマスク着用をする等飛沫（ひまつ）を防ぐための対策をとる

②検温し体調確認、睡眠状況、顔色等確認し、軽症でも業務は行わせない等徹底する

③アルコール検知器の据え置きタイプを使用する場合はマウスピースの使いまわしはせず使用毎に交換する（ストロータイプも同様）

※可能であれば携行型アルコール検知器を各ドライバーに配布し使用させる方法が望ましい（当協会のアルコール検知器導入助成金をぜひご活用ください）

④ドライバーはアルコール検知器使用後に再度手指をアルコール消毒する

⑤アルコール検知器はドライバーが使用毎に検知器本体を次亜塩素酸ナトリウム等で消毒する

→本体にアルコール消毒を行うと検知器が誤検知・故障する恐れがある

また本体の近くにアルコール消毒液等を置かないようにする

（アルコール検知器本体の除菌方法は、各社機器特性が異なることから各メーカーの指示に従うこと）

4. 運行・作業時及び休憩時

- ①可能な限り1人1車制とする
- ②定時連絡時に体調確認を行う
- ③作業時は可能な限り手袋を着用する、こまめに手洗い・手指の消毒を行う
- ④作業負荷を下げる（荷役のパレット可、省力・アシスト機器の活用）
→無症状であっても呼吸量が増える活動時に感染事例が報告されている
- ⑤休憩時は可能な限り他者と距離をとり、混んでいる場所は避ける
- ⑥共用する車両、器具のハンドル、レバー、ドアノブ等はアルコールや次亜塩素酸ナトリウム等で消毒を行う

5. 全般的な対策

- ①管理者は改善基準告示を遵守し、ドライバーの長時間労働を避け、睡眠・休息時間を十分確保する
- ②可能な限りマスク着用、咳エチケット・手洗いうがいの励行

以上

COVID-19

新型コロナウイルス対策に対応した アルコール検知器使用

にあたっての留意事項

新型コロナウイルスの対策として、手洗いとアルコール除菌が基本となっていますが、手指や検知器をアルコールで除菌した直後の測定による誤検知が散見されています。このため当協議会では、新型コロナウイルス対策を徹底しつつ、アルコール除菌による誤った判定を防ぐために、以下の4つの手順を推奨します。



手順 ①

手指を
アルコール除菌



手順 ②

石鹸で手指洗い



手順 ③

アルコール検知器
の使用



手順 ④

手指を
アルコール除菌



◎アルコール検知器を使用する際は、室内を事前に十分換気するか、風通しの良い環境を確保してください。

◎手指用のアルコール除菌剤は高濃度のアルコールが含まれており、特にジェルタイプの場合手指に付着したアルコールが完全に乾燥するまで時間がかかることがありますので、十分石鹸で手指洗いを行ってからアルコール検知器を使用してください。

◎また、アルコール検知器の近くに、アルコール消毒液又はアルコールを含む除菌剤や手指洗浄剤を置かないでください。数値表示したり、数値がゼロに戻りにくくなる可能性があります。

※アルコール検知器の除菌方法は、各社の機器特性もありますので、ご使用メーカーにお問い合わせください。